

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1960
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.53, No.8 (1960. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19600801--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田学会雑誌

1960年 8月号


論 説

- 一九五〇年代後期の日本の財政学における
 財政の本質および体系に関する問題……高木 寿一 1
 ——前進のための若干の疑問の提出——
- 議会制度とエンゲルス……正田庄次郎 16
- イギリス労働党における社会化思想の変遷……村田光義 33

書 評

- ジェル・C・リーマースマ『オランダにおける
 カルヴィニズムと資本主義』……渡辺国広 50
- 森下二次也編『商業経済論体系』……庭田範秋 55
- 佐々木俊次著『ロシア思想史—スラヴ思想の展開—』……田中 明 59

新刊紹介

53巻  号

昭和三十三年十月二十四日
昭和三十三年七月一日
第三種郵便物認可
A〇三〇号

昭和三十三年十月二十四日
昭和三十三年七月一日
第三種郵便物認可
A〇三〇号

三田学会雑誌

昭和三十五年七月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 53, No. 7

July, 1960

CONTENTS

- Membership of Lübeck City Council in the Latter
 Half of the 14th Century..... *S. Takamura* 1
- On the Economic Structure of Reproduction
 of the Farm Household and the Differentiation
 of Peasantry in Post-War Japan..... *M. Tokiwa* 11
- The Labour Force of Females..... *I. Ozaki* 37
- Survey of Academic Circles
- On the "Seniority Wage System" in Japan..... *T. Kurokawa* 64
- Book Reviews
- Labour Problems and Labour Management,
 by Shincho Tsuda..... *M. Chubachi* 72
- Chartist Studies, ed. by Asa Briggs.
 Public Order in the Age of the Chartists,
 by F. C. Mather..... *K. Iida* 78
- Optimum Population, by Ichiro Nakayama
 and Ryoshin Minami..... *M. Yasukawa* 82
- Socialization and Economic Planning,
 by Hiroshi Kato and Naomi Maruo..... *Y. Hara* 87

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,

Keio-Gijuku University,

Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 90 yen

新刊紹介

米山桂三著『産業社会学序説』	青沼吉松	64
日本生産性本部生産性研究所編『技術革新と日本経済』	尾城太郎丸	65
中国研究所訳編『現代中国経済史』	平野絢子	66
日本統計研究所編『日本統計発達史』	西川俊作	67

一九五〇年代後期の日本の財政学における 財政の本質および体系に関する問題

——前進のための若干の疑問の提出——

高木寿一

一、はしがき

いま日本の財政学研究者で、財政学の研究対象である財政または財政現象の本質、また財政学の体系について、殊に既成財政学が提示している本質概念および体系について、全面的に満足して何等の不満も持たないという人があるか。たとえば、その不満を表明しなくとも、内心は満足していないのではないか。

一九五〇年代後期の日本の財政学書において、これらの問題がいかに取扱われているか。いかなる形態でその不満が表明されているかを検討して、若干の疑問をもあわせて提出してみたいと思う。

例えば、武田・遠藤・大内力教授共著の「近代財政の理論」(一九五五年)では「これまでの財政学の著書のなかには……財政現象の本質とその運動法則とを明らかにすることによって、財政学を社

一九五〇年代後期の日本の財政学における財政の本質および体系に関する問題

会科学として確立するという点においては、なお、かならずしもじゅうぶんな努力が払われてはいなかったのではないかと思われる……」という(同書、はしがき、一頁)。

また安藤春夫教授は「財政学原理」(一九五八年)で「いまや何等かの新しい財政学を構成する胎動期にあることはたしかであるが……過去の財政学をふりかえってみることは、新しい財政学をつくらうとするいまこそ、最も必要なときのように考えられる」という(同書、序、一一二頁)。

時子山常三郎教授は「財政本質論」(一九六〇年)で、「第二次大戦を経て「財政とは何か」が、あらためて問われざるをえなくなり、財政そのものの本質問題があらたな課題として歴史に上途してきた。財政学の方法と体系にまで立ち戻って問題とせざるをえなくなつた……」という(同書、はしがき、v)。また「今日、財政学の反